

令和2年度

滋賀県立愛知高等養護学校 学校評価

学校番号 64

本年度の重点目標

- ・人としての成長を育む。日常生活指導に努める。
- ・両校の生徒が共に学び、共に励み、共に生きる（ノーマライゼーション）心を育む。
- ・両校の教職員が一体となって教育活動を推進する。
- ・本校の教育活動を保護者・地域等に積極的に伝える。地域と共に学ぶ。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	・学校は、生徒一人ひとりの個性を大切に、社会的職業的自立に向けた教育を推進している。	A	A	A
	・学校は、保護者・関係機関・地域社会との連携の下、地域から信頼される学校づくりに努めている。	A	A	A
2 教育課程・学習指導	・学校は、年間計画に基づいて計画的に授業を行い、生徒の特性を把握した授業の工夫に努めている。	B	B	B
	・学校は、生徒にわかりやすい授業をめざし、日々授業改善に取り組んでいる。	B	B	B
3 生徒指導	・学校は、個々の実態を的確に把握し、豊かな情操を養い、望ましい人間関係の醸成に努めている。	B	B	B
	・学校は、社会的自立を確立する生活習慣・生活態度を身につけさせるよう努めている。	A	A	A
	・学校は、いじめ防止基本方針、ストップ!いじめアクションプランに基づき、いじめのない学校づくりに努めている。	A	A	A
4 進路指導	・学校は、計画的な進路学習を進め、働くことの意義を考えさせその理解を深める指導をしている。	A	A	A
	・学校は、地域・関係機関等と連携し、生徒一人ひとりの適性に応じた進路指導を展開している。	A	A	A
5 保健・安全指導	・学校は、生徒が自主的に健康管理ができるよう、支援と指導に努めている。	A	A	A
	・学校は、交通ルールや社会的規範が守れるよう指導の充実を図っている。	A	A	A
6 人権教育	・学校は、一人ひとりが大切にされ、明るく生き生きとしたクラスづくりに努めている。	A	A	A
	・学校は、思いやりや協調性のある豊かな心を育て、人権感覚と自己肯定感を高め、豊かな人間性の育成に努めている。	A	A	A
7 環境教育	・学校は、自然環境・生活環境に関心をもち、ごみの減量化、節電・節水等環境に配慮した生き方を指導している。	B	B	B
	・学校は、学校生活において、ごみの分別や清掃活動を通じて環境を考える取り組みを行っている。	A	A	A
8 交流教育	・学校は、部活動や学校行事などをとおして、愛知高校生との交流及び共同学習を積極的に進めている。	A	A	A
	・学校は、専門教科等を通じて積極的に地域に出かけ交流に努めている。	A	A	A
9 教職員の現職教育	・学校は、愛知高校と連携して様々な職員研修を実施し、教師力アップに努めている。	B	B	B
	・学校は、特別支援教育に係る専門性を高める研修に努めている。	B	B	B
10 センター的機能の発揮	・学校は、特別支援教育の啓発と推進のための情報発信に努めている。	A	A	A
	・学校は、特別支援教育コーディネーターを中心として、地域の要望に沿った本校の役割の遂行に努めている。	A	A	A
11 その他学校の取組み	・学校は、生徒・職員が一致して、よりよい高等養護学校の校風づくりに努めている。	A	A	A
	・学校は、高等養護学校の教育実践を、県内の中学校・企業・関係機関等に発信している。	A	A	A

(注) ・評価については、A B C Dの4段階で示す。

・生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。

・自己評価：A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C Dの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。